飾窓の女（1944）

THE WOMAN IN THE WINDOW

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 103分
初公開日 1953/10/01
公開情報 映配
リバイバル 1994/［シネカノン］

【解説】

Ｆ・ラングが「恐怖省」と同じ年に放った極めつけのニューロティック・スリラー。犯罪心理学が専門の大学教授（ロビンソン）はバカンス旅行に先立つ妻子を見送った帰り道、ショウウィンドウに美しい女の肖像画を見つけ、しばし見とれる。旧友らとクラブで一杯引っかけ、ふと眠り込んだ彼はボーイの声で目を覚まし、帰宅途中また例のウィンドウを覗き込むと、絵の上に本物の女の姿がダブって写る。アリスと名乗るその女（Ｊ・ベネット）に誘われるまま彼女の部屋に行きくつろいでいると、突然怒り狂った男が襲いかかって来て、教授は彼を殺してしまう。幸い、警察にも気づかれず死体を処理したが、殺された男の子分だという男（デュリエ）が彼女をゆすりに来て……。寝技的なハッピーエンドが公開時は不評だったが、それゆえに悪夢的な印象を残す。観客の支持があった事は、翌年全く同じキャストで“ＳＣＡＲＬＥＴ　ＳＴＲＥＥＴ”が作られている事からも明かだろう。

【クレジット】

監督	フリッツ・ラング	Fritz Lang
製作	ナナリー・ジョンソン	Nunnally Johnson
原作	Ｊ・Ｈ・ウォリス	J.H. Wallis
脚本	ナナリー・ジョンソン	Nunnally Johnson
撮影	ミルトン・クラスナー	Milton Krasner
音楽	アーサー・ラング	Arthur Lange
	ヒューゴ・フリードホーファー	Hugo Friedhofer
出演	エドワード・Ｇ・ロビンソン	Edward G. Robinson
	ジョーン・ベネット	Joan Bennett
	ダン・デュリエ	Dan Duryea
	レイモンド・マッセイ	Raymond Massey
	ロバート・ブレイク	Robert Blake
	ドロシー・ピーターソン	Dorothy Peterson

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.